

技術・家庭科（家庭分野） 学習指導案

横浜国立大学教育学部附属横浜中学校 池岡 有紀

1 対象・日時 1年C組 令和5年2月17日(金) 1校時

2 本題材で育成したい資質・能力（評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできる。 ②食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。	①食品の選択・購入と保存について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	①家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、食品の選択・購入と保存について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3 題材「〇〇家のよりよい食生活について考えよう（食品の選択編）」について

本題材は、『学習指導要領』「B衣食住の生活」の（3）に当たり、用途に応じた食品の選択や食品の安全と衛生に留意した管理について学習する内容である。

私たちは日々、食品の選択を繰り返しながら生活をしている。中学生は食べたいものを自ら選択して購入する機会も増えてくる時期であるが、生鮮食品や加工食品、食品の背景、環境や社会に与える影響など多岐にわたる選択肢について、考えて意思決定できていないように見受けられる。

そこで、本題材では「自分や家族にとって、食品の選択の視点からよりよい食生活を考えよう。」という課題を軸に、授業を進めていく。授業のはじめに、「よりよい食生活」とは何か、学習前の考えを記入した後、見方・考え方をレーダーチャートの視点とし、見方・考え方である4つの視点を考えながら生活ができているか、今の自分を振り返り、個人の課題を立てていく。生鮮食品や加工食品、JAの方や企業の方のインタビュー動画から旬やフードマイレージ、調理のしやすさや生活時間などの視点について学習していく中で、その課題を解決するためのヒントをワークシートに溜めていけるようにする。第4時では仮の家族で食品の選択をする活動を行い、家族によって大事にしたい視点が異なり、様々な生活スタイルがあることに気付かせる。第5・6時では、これまで学習したことを生かして、「〇〇家のよりよい食生活」を考え、食品の選択と保存、調理を実践していく。そして、その経験を踏まえて、改めて自分や家族にとっての「よりよい食生活」をまとめ、自分が今後も実践できることを考えていく。

4 生徒の学びの履歴

1年生では、『学習指導要領』の「A家族・家庭生活」（1）、「B衣食住の生活」（1）（2）（4）について学習した。「よりよい食生活」については、「中学生の栄養編」をすでに学習している。購入については、衣生活の学習の中で、衣服の選択について意思決定プロセスに沿って学習している。これまでの学びとつながるように振り返らせながら、「よりよい食生活」が考えられるように学習を進めていきたい。

家庭分野の学習では、課題について自分で考えた後にグループからアドバイスをもらい、その意見を基に自分の考えを再構築することを行っている。また、どの題材においても、考えの変容や授業を通して気付いた視点を記録できるワークシートを用いており、使用した一枚式のワークシートは、写真に撮って生徒自身のOneDriveに保存させていく。これまでの学習をもとに、3年生の最後には生徒自身や家族にとっての「よりよい生活」を考えさせるため、今回の題材においても「よりよい生活」につながるよう考えさせていきたい。

5 資質・能力育成のプロセス（7時間扱い、本時 は6時間目）

次 時	評価規準 (丸番号は、2の評価規準の番号)	【 】内は評価方法及び Cと判断する状況への手立て
1 1	<p>思① 食品の選択・購入と保存について、問題を見いだして課題を設定している。(○)</p> <p>態① 食品の選択・購入と保存について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。(○)</p>	<p>【ワークシートの記述の確認】 C：自分の生活を振り返らせ、自分が取り組めていない視点を基に課題を設定するように促す。</p> <p>【発言の確認】【行動の観察】 C：自分の課題の解決に向けて、どのような力を身に付けるべきかを考えさせる。</p>
2 4	<p>知① 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択や食品の安全と衛生に留意した管理について理解している。(○)</p> <p>思① 食品の選択・購入と保存について、実践に向けた計画を考え、工夫している。(○)</p> <p>態① 食品の選択・購入と保存について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。(○)</p>	<p>【ワークシートの記述の確認】 C：安心できる点や不安がある点など、複数の視点から整理するように促す。</p> <p>【ワークシートの記述の確認】 C：仮の家族にとっての「よりよい食生活」はどのようなことなのか、考えさせる。</p> <p>【ワークシートの記述の確認】 C：よりよい食生活にするためのヒントを整理して記入するように促す。</p>
5 6	<p>知① 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできる。(○○)</p> <p>知② 食品の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。(○○)</p> <p>思① 食品の選択・購入と保存について、実践を評価・改善している。(○)</p>	<p>【ワークシートの記述の確認・分析】 C：家庭で大切にしたい視点を考えさせる。</p> <p>【ワークシートの記述の確認・分析】 C：食品に合った保存方法であるか確認させる。</p> <p>【ワークシートの記述の確認】 C：自分の家族にとって、食品の選択の際に大切にしたい視点はどのようなことなのかを考えさせる。</p>
7	<p>態① よりよい生活の実現に向けて、食品の選択・購入と保存について、工夫し創造し、実践しようとしている。(○○)</p> <p>思① 食品の選択・購入と保存についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠や理由を明確にして説明したり、発表したりしている。(○○)</p>	<p>【ワークシートの記述の確認・分析】 C：これまで積み重ねてきた学習を振り返り、自分の生活に生かせそうな視点がないか、考えさせる。</p> <p>【ワークシートの記述の確認・分析】 C：今までの学習を踏まえて、自分の考えを具体的に記入するように促す。</p>

主たる学習活動	指導上の留意点	時
<ul style="list-style-type: none"> 学習プランを用いて、本題材の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【貫く課題】自分や家族にとって、食品の選択の視点からよりよい食生活を考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「よりよい食生活」とは何か、学習前の考えをワークシートに記入する。 今の自分の食生活について振り返り、自分の課題を設定する。 意思決定のプロセスを復習する。 冬休みの課題であったミートソーススパゲッティを作った際、どのような手順で行ったか、どのような食材が必要であったか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習プランを示し、学習の流れと身に付けたい資質・能力を確認させ、見通しをもたせる。 学習前の時点で考える「よりよい食生活」について、中学生の栄養や衣服の選択での学習を思い出ししながら、食品を選択する際に大事にしたい視点を3つ挙げて、具体を記入させる。 見方・考え方である4つの視点を考えて生活ができているか、今の自分を振り返り、一枚式のワークシートに記入させる。 衣服の選択の学習や肉の調理の実践として行った冬休みの課題を振り返り、食品の選択と購入の手順を確認させる。 ミートソースの材料を生鮮食品と加工食品で分けて、大まかな特徴を捉えさせる。 	1
<ul style="list-style-type: none"> ミートソースの材料から、生鮮食品と加工食品の情報を整理し、特徴を理解する。 ミートソースを作るために買った材料や余ったミートソースを、どのように保存するのか考える。 仮の家族が夕食にミートソースを食べるとしたら、どのような食品を選ぶのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 生鮮食品は外国産や県外産、横浜産、加工食品はレトルト食品や冷凍食品などの複数の表示や冬休みの課題の経験から特徴を挙げさせ、付箋を用いて「食品を選択する際に考える視点」から整理させる。 JAの方や企業の方のインタビュー動画から、それぞれの思いや実態を理解させて大切にしたい視点を共有し、選択のヒントにさせる。 意思決定のプロセスに沿って選択を行い、次時の課題解決の手立てや根拠となるようにする。 	2 4
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【課題】〇〇家のよりよい食生活を考え、食品の選択と保存、調理を実践しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 自分の家族で食品を選択する際にどのようなことを大切にするのか、テーマを決める。 生鮮食品である肉と加工食品を材料として主菜の献立を考え、どのような食品を選ぶのかまとめる。 選択した根拠を共有し、知識や技能を再構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ミートソースを題材に考えたことを参考にして、自分の家族の食生活を考えるように促す。 次の時間までに実際にスーパーなどに出向いて、実際の食品を確認してくるよう伝える。 共有する際にはPowerPointを使用し、写真を入れて整理できるようにする。 根拠が明確になっているか、PowerPointのコメント機能を用いて、アドバイスをさせる。 	5 6
<ul style="list-style-type: none"> 家庭で実践してきたことを共有する。 学習を終えて、改めてレーダーチャートに記入し、学習を通して考えた「よりよい食生活」をまとめる。 自分が立てた課題についてどのような解決方法を見いだしたか、「よりよい食生活」にするために何ができるかについて記入する。 班で相互評価を行い、自分の記述を見直して、考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 販売店の価格や商品は日々変わっていくため、想定していたことと違っていったことや変更したことなどを含めて、実践報告をさせる。 今後どのようなことを意識していきたいかを踏まえて、レーダーチャートに記入させる。 改めて、今まで書き溜めてきた記述を見返し、自分の考えをまとめさせる。「よりよい食生活」は、食品を選択する際に大事にしたい視点を3つ挙げさせ、変容が見られるようにする。 学習を踏まえた視点が入っているか、実践内容が具体的かなどについて確認するよう促す。 「よりよい食生活」にするために行動することが、「よりよい生活」にもつながっていくことを生徒に気付かせる。 	7

6 学びの実現に向けた授業デザイン

【「学びに向かう力」が高まっている生徒の姿】

家庭分野の見方・考え方を働かせながら、自分や家族にとっての「よりよい食生活」について考え、実践しようとする姿。

【「学びに向かう力」を高めていくための指導と評価の工夫】

○観点別学習状況のあり方

1. 「知識・技能」の指導と評価

それぞれの学習の中では、思考ツールを用いて情報を整理したり、実践的・体験的な活動を取り入れたりすることで、学んだ知識を自分の生活に合わせて選択できるように工夫している。例えば、生鮮食品と加工食品の表示の内容を比較したり分類したりすることで情報を整理し、特徴を理解できるようにする。また、「〇〇家のよりよい食生活」を考え、食品の選択と保存、調理を実践する際には、これまでの学習を踏まえて根拠をもって説明できるようにする。評価は、「〇〇家のよりよい食生活」を考える際、なぜその食品を選択したのか、なぜその保存方法にしたのかについて、ワークシートの記述を見取るようにする。

2. 「思考・判断・表現」の指導と評価

見方・考え方をレーダーチャートの視点とし、自分の生活を振り返って課題を見つけ、自分や家族にとって「よりよい食生活」とは何かを考えながら、学習の見通しをもって自分の課題が解決できるような題材構成にしている。自分の生活に結び付けて考えたり、仲間と考えを共有したりする学習を通して、自分や家族、社会、環境、生活文化の継承・創造のために何ができるかについて考え、実践につながられるようにしていきたい。学習の最後に、自分が立てた課題について、どのような解決方法を見いだしたか、具体的に実践していきたいことについてまとめて相互評価を行い、ブラッシュアップした記述を見取るようにする。

3. 「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価

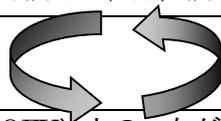
思考の変容が可視化されるように、一枚式のワークシートを使用している。「よりよい食生活」のヒントになること、自分の課題を解決するために必要だと思うことを、見方・考え方の4つの視点でワークシートに書き溜めさせ、毎回の授業で共有する時間を設けるようにする。教師はよい視点に線を引いたり、アドバイスが必要な場合はコメントを書いたりして、生徒が粘り強く取り組み、学習の調整ができるようにする。「よりよい食生活」について、学習のはじめと終わりに記述させ、変容を見取るようにする。

○言語活動を充実させるための工夫

自分の家族で食品を選択する際、なぜその食品を選択したのか、なぜその保存方法にしたのかについて、これまでの学習を踏まえて根拠をもって説明できるようにするために、生鮮食品や加工食品の特徴を整理させたり、JAの方や企業の方のインタビュー動画から考えさせたりしたことを踏まえて、仮の家族で考えさせる活動を行い、ワークシートに論述させる。また、家庭で実践してきたことを共有する際、「よりよい食生活」についてまとめる際のヒントになるように、他の生徒たちの実践についても記録させる。

【本題材での指導事項】 ※（既習）は既習事項

- ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできること。
- ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできること。
- ・日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫すること。



【本題材における、総合的な学習の時間（TOFY）とのつながり】（※「考えるための技法」はゴシック）

- ・学習の**見通し**をもって課題解決を行うことで、TOFYの探究的な学びにつながる。
- ・生鮮食品と加工食品の表示の内容を**比較**や**分類**をしたり、食品の選択と保存、調理を実践する際には、根拠をもって説明できるように**理由付け**たりすることで、探究のプロセスである整理・分析をする力につながる。